

新規事業の立ち上げを応援する

第19期 福祉たすけあい基金スタート助成

19団体に総額470万円を助成しました

助成団体情報はこちらから



設立後間もない団体や既存団体による新規事業の立ち上げを応援する福祉たすけあいスタート助成は、最大3か年まで支援できる伴走型のプログラムです。

- NPO法人 フードバンク浜っ子南** (横浜市) 3回目
ひとり親世帯への食料支援やこども食堂等への食料提供
- 特定非営利活動法人 霧が丘ぶらっとほーむ** (横浜市) 2回目
地域の人が繋がれるきっかけになる場所の土台づくり
- 一般社団法人 かけはし** (横浜市) 2回目
地域で創るコミュニティカフェと社会的自立にむけた活動
- 一般社団法人 みんなのレモネードの会** (横浜市) 3回目
オリジナル缶バッジで小児がん啓発月間を啓発&応援
- リンパ浮腫ネットワークジャパン** (横浜市) 3回目
リンパ浮腫情報ポータルサイトの拡充と実態調査
- 一般社団法人 Thoughtful Gift** (横浜市) 2回目
精神科入院患者への物資提供
- 横浜市立大学 one by ONE** (横浜市) 2回目
小児病棟における院内家庭教師、院内イベント企画
- 葉山子どものための人材バンク** (葉山町)
学校教育現場に派遣する地域講師のスキルアップ
- 一般社団法人 リトルハブホーム** (茅ヶ崎市)
学習支援兼軽食の提供「おむすび寺子屋」の運営
- Book & Art ニワシドリ** (座間市) 3回目
空き家を活用した「ほしのたに文庫」を広げる広報強化
- 特定非営利活動法人 居場所 そら** (横浜市) 2回目
公立中学校での放課後の居場所『そらカフェ』
- 一般社団法人 ヨコハマ・インクルボッチャ・ラボ** (横浜市) 2回目
ポッチャ普及推進事業
- 認定NPO法人 フリースペースたまりば** (川崎市)
食支援からSOSをキャッチし、「相談CAFÉ」からはじめる地域連携ネットワークの構築
- 一般社団法人 あそびの庭** (二宮町) 2回目
子どものまん中の居場所づくりと命をまもるまちづくり
- 特定非営利活動法人 ふじぼけ** (藤沢市) 2回目
一軒家をシェア賃貸した、子どもの居場所活動
- Kids Fine** (相模原市)
障がいを抱えた若者層が集う場所の提供
- 一般社団法人 トルコキキョウの会** (相模原市)
小児がん患者とその家族の相談支援事業を広げるための広報強化
- ぴあっと** (相模原市)
発達障害ポータルサイトと地域福祉取材チャンネルの構築と運営
- 特定非営利活動法人 ユナイテッドかながわ** (大和市)
『多国籍団地健康支援』プロジェクト

分ちあい・支えあいを広げる市民活動を応援!

生活クラブ組合員による『生活困窮者支援カンパ』の寄付を原資とした生活クラブオリジナル助成プログラム

第2期 生活クラブソーシャルインクルーシブ助成

81団体に総額7,334,151円を助成しました

助成団体情報はこちらから



寄附団体からのメッセージ 生活クラブ生活協同組合

格差・貧困・孤立が拡大している今、地域でのお互いさまのたすけあいを担う活動が広がっています。生活クラブソーシャルインクルーシブ助成は、そうした市民活動に生活クラブの組合員からのカンパで支援するプログラムです。助成団体の選考にあたっては、経験豊かな有識者による選考委員と組合員リーダーが参加する選考部会との合同選考委員会を開催し、それぞれの活動の視点からの意見を出し合い選考をすすめました。活動内容は、子

も食堂・地域食堂(パントリー含)41団体、フードバンク5団体、学習支援7団体、居場所9団体、障がい者支援・難病・がん患者支援8団体、子育て支援・高齢者支援・相談事業・生活困窮者支援11団体など多岐にわたっています。今回の助成が活動の継続や広がりにつながってほしいと思います。お互いさまのたすけあいが息づく地域づくりを共に進めていければと思います。
(選考委員会副委員長、生活クラブ理事長 篠崎みさ子さん)

かながわ生き生き市民基金には、個人や団体、企業が助成金からの寄付を原資に、寄付者オリジナルの助成プログラムを作るしくみがあります。選考にあたっては、寄付団体からも特別選考委員としてご参加いただきました。

2022年度

第2次 ユーコープ子ども食堂・地域食堂応援助成

28団体に総額200万円を助成しました

助成団体情報はこちらから



子どもの貧困や教育の支援のために、書き損じハガキ、未使用切手等の寄付活動を行った原資をもとに助成を実施しました。昨年に続き2回目となります。

寄附団体からのメッセージ 生活協同組合ユーコープ

選考の際には応募いただきました諸団体の取り組み趣意、日ごろの活動についての申請内容および、ホームページやSNSで発信されている活動の報告など、さまざまな角度から拝見し、神奈川県内の子どもたちの支援につながる点、また、今後の取り組みに期待が持てる点、

また、新たにご応募をいただいた団体への積極的な支援などを考慮し、寄付額の決定をさせていただきました。日ごろの取り組みへの想いや取り組みの様子を知る機会をいただき、大きな感銘を受けました。

(特別選考委員、県本部長 櫻井展子さん)

2022年度

JA横浜子どもの未来支援助成

42団体に総額1,000万円を助成しました

助成団体情報はこちらから



JA横浜が創立20周年を迎えるにあたり、地域のために何ができるのか検討される中、横浜市内で深刻化する「子どもの貧困」という社会課題の解決に向けて取り組んだ総額1,000万円を助成する独自プログラムです。

寄附団体からのメッセージ JA横浜

私たちJA横浜の役職員は、子どもに寄り添って支援する市民団体の視察等を通じ、現場での課題や苦勞を肌で感じていたことから、一つでも多くの市民団体を応援したいとの想いをもって選考にあたりました。今回、市内で子どもの貧困問題の解決に向けて活動する非営利団体に対し、「子ども食堂・地域食堂」「フードバンク」「無料塾・フリースクール(フリースペース)・居場所」の3つの分野を助成対象とし、

申請のあった42団体に対して、総額1000万円の助成を行うことができました。「子どもの貧困」という社会課題の解決は時間のかかることかもしれませんが、今回の私たちの施策が、その解決に向けた新たな一歩となり、子どもたちの明るい未来に繋がると信じています。

(特別選考委員、経営企画本部事業企画室
ゼネラルマネージャー 角田茂樹さん)

助成団体活動紹介は中面へ→

助成団体からありがとうの声 ガーゼ帽子を縫う会 (茅ヶ崎市)

自分自身ががんになった経験から、仲間と集い、気持ちの吐露ができる場所が、がんサバイバーにとってとても大切だと感じています。そして病氣と向き合っている子どもたちへエールを込めてガーゼ帽子を作ること、がんになっても社会活動に参加できる喜びを感じています。

(吉田久美さん)



地域の人が気軽に集える居場所をつくりたい
地域の居場所づくりを応援します！
「居場所ツアー」
参加者募集

- 定員** 先着8名
※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。
- 参加費** 2,000円(全3回)
- 申込** 右下記の電話・メールにて
締切▶8月25日(金)

- プログラム**
- ◆第1回:オリエンテーション
日時 9月6日(水)10時~12時
場所 オルタナティブ生活館2階 201会議室
 - ◆第2回:居場所見学①(活動紹介参照)
日時 9月9日(土)13時30分~15時
場所 こども食堂ハレの日ケの日(横浜市西区老松町)
 - ◆第3回:居場所見学②(活動紹介参照)
日時 9月21日(木)10時30分~12時
場所 NPO法人 霧が丘ぶらっとほーむ(横浜市緑区霧が丘)
- ※ツアー行程など詳細は追って参加者にご連絡いたします。

たすけあう関係性が希薄な地域社会、人がつながり交流する場づくりが求められています。これまでに助成し応援してきた居場所づくりに取り組む団体を訪問し、実際の活動現場を見学します。地域の人々の暮らしに沿った豊かな発想と地域を巻き込む参加性を実感し、居場所活動のイメージづくりにつなげる全3回講座です。



霧が丘ぶらっとほーむ オープニング



ハレの日ケの日 エントランス

2022年度受講者の声

- 現代の日本の社会において、居場所の必要な人がそれぞれの年代におられると思っています。年代層で居場所のあり様は違うと思いますが、人々が孤立したり、孤独にならない絆のある社会になるように私自身も活動していきたいと思いました。

2023 居場所ツアー 見学先①

JA横浜子どもの未来支援助成

こども食堂ハレの日ケの日(横浜市西区)

我が子が巣立ち、空いた時間と空間を何かの役に立てたいという思いで、2019年11月こども食堂を立ち上げました。程なく始まったコロナ禍により、屋外での食事提供や弁当販売への切り替え、自粛で行き場のないこどもたちの居場所確保など、厳しい状況になる度に生き生き市民基金様に助けていただきました。また、食堂に集うママたちから、「通院などの際、こどもを預かってもらえないか」という相談を受け、2020年に一時預かりを始め、昨年は175日延べ2100時間余のお預かりを実施しました。2022年は、3月より百貨店からの賞味期限間近のパンのご寄付を受け、毎週金曜日の夜に「ぱんトリー」を開催、7月より近隣小学校個別支援級の毎週木曜日の定期的訪問と輪が広がっています。これらのニーズに対応できたのは、市民基金様の資金面でのお支えがあったからと心より感謝申し上げます。こどもの豊かな育ちのため、スタッフ一同時間と体力の許す限り精進して参ります。

(代表 鈴木奈穂子さん)



団体情報はこちら→



2023 居場所ツアー 見学先②

第17・19期 福祉たすけあい助成

JA子どもの未来支援助成

NPO法人 霧が丘ぶらっとほーむ(横浜市緑区)

2023年1月13日に横浜市緑区霧が丘に地域コミュニティカフェ「ぶらっとKiricafe」をOPENすることができました。「世代を越えた仲間」と創った地域の居場所です。2022年、ヨコハマ市民まち普請事業で場所の整備費の一部を獲得してこの福祉たすけあい基金を活用させていただきました。放課後に宿題をする子どもの姿。キッチンではインドのママから80代のシニア世代まで活躍中です。週2回ランチを食べに来て下さる80代の杖をついたおじい様。お庭で咲いたお花を「おすそ分け」と持ってきて下さる方。お客様が「洗い物手伝いますよ」とそのままお手伝いしてくれる事もありました。常設の場所がある事で地域みんなの優しさを集まっています。これからも私たちは「ぶらっとkiricafe」の旗を立て、居場所を温かく広げていきます。

(代表 根岸あすみさん)



団体情報はこちら→



～いざという時に困らないために～

第1部 相続セミナー & 第2部 個別相談会

参加費 無料

日時 8月24日(木) 場所 オルタナティブ生活館 5階 まなびや

第1部:相続セミナー 13:30~15:30
定員 会場15名 ★別途オンライン参加も受付

相続まるわかり
～いざという時に困らないために～

講師 金子 大也氏
(金子税務会計事務所 公認会計士・税理士)



節税に加え、
思いを遺すお手伝いをいたします!

講師 早坂 毅氏
(早坂毅税理士事務所 税理士・行政書士)



第2部:無料個別相談会
①15:30~②16:00~③16:30~

定員 先着各枠2名 計6名
要事前申し込み お電話でご予約ください

★第1部相続セミナー会場参加者から希望者対象(オンラインでの個別相談はできません)

★定員を超えた場合、当日ご都合がつかない場合は、専門相談員による無料相談をご利用ください。

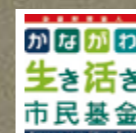
申込・問合せ 右記の電話・メールにて

随時受付中

専門相談員による
相続に関する
無料相談

かながわ生き生き市民基金では、専門相談員と連携して相談に関する問題やトラブル、遺言、遺贈寄付など、相続に関する全般的な相談を実施しています。無料相談をご希望の方は、電話でご連絡ください。弁護士、公認会計士、税理士、司法書士、行政書士の資格を持つ専門相談員にお繋ぎします。
※初回相談(30分程度)は無料。それ以降は有料となります

相続セミナー・個別相談・居場所ツアーの申し込み・問い合わせ



公益財団法人
かながわ生き生き市民基金
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15
パレアナビル6階

TEL:045-620-9044
info@lively-citizens-fund.org

※お電話の受付は平日9:00~17:00になります。



JR、横浜市営地下鉄、相鉄、東急 新横浜駅よりおおよそ徒歩7分

2022年度
受講者の声

●全体的に系統立てて説明され、とてもわかりやすかったです。遺贈の進め方について、自ら築いた財産をどう将来に託すか(自分がどう生きてきたかの延長線)という考え方にとても納得がいくきました。